

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果をふまえた課題・改善の方向)
学校経営	① ホームページや携帯メールにより、学校行事や部活動の大会結果、緊急時の情報発信を行なった。(携帯メールでの情報発信を11回前年比+2回実施した。) ② 「松尾高校に入学させてよかった」の保護者の満足度が81.4%であり、3年生では84.1%と高い評価を得た。 ③ 行事について生徒の満足度は82.9%と高いが、学校規模の縮小で意義あるものにするため実施内容等の検討をする。	① ホームページと共に、携帯メールの活用により学校情報の発信に努める。また、携帯メールの災害時等の緊急時に有効な対応ができるように、複数で発信できる体制づくりを進める。 ② 生徒・保護者の希望を受けての指導を検討し、信頼される学校づくりに努める。 ③ 学校組織の見直し・行事の精選等とおし、生徒の満足感が更に得られるように改善に努める。
学習指導	① 生徒による授業アンケートの結果、復習教材の使用等で「授業がよく理解できる」が66% (昨年+2.3%) に上昇した。 ② 漢字・英語の検定の他、各コース関する検定や資格取得にも意識が向上し、大学の一般入試にも積極的に取組んだ。 ③ 保護者に対し授業公開日の周知に努め、中学生に対しても授業公開を実施し、教職員の授業改善に努めた。	① 復習教材の使用の充実など更にきめ細かな授業を推進し、基礎学力の充実と共にシラバスや年間指導計画の改善を図る。 ② 検定等の計画的な実施と共に、基礎学力の向上や補習の充実で、学習意欲の喚起を図る。 ③ 保護者や地域の方・中学生への授業公開を積極的に展開し開かれた学校づくりを推進し授業改善を図る。
生徒指導	① 面接週間(年2回)を設け、自己の生活の見直しを行い、学校生活の改善に努めている。「先生方は、生徒の相談親身になってくれる」の生徒の満足度は70%と向上した。 ② 服装指導(月1回)、登校指導(学期3回)、校外指導(学期3回)を実施した。「服装・頭髪の指導が適切である」の保護者の満足度は88.1%であり、高い評価を得ている。(昨年度86.4%)	① 被害目的調査(いじめ調査を含む)を年3回実施し、面談週間の他にも個別面談を随時行い、生徒の状況を職員間で共有する体制づくりをする。 ② 服装指導(月1回)を継続させるとともに、社会の一員としてのマナー・モラルを向上させる。また、地域との連携で中学と合同での通学時の声掛け活動等を継続して実施をする。
キャリア教育	① 進路説明会に外部講師を招き1、2年生は3回、3年生は1回、保護者説明会を4回実施し、「進路について熱心に指導される」の生徒満足度は、81.6%である。 ② 福祉・保育・介護・行政分野など、インターンシップへの参加生徒が68名と増加した。(昨年比+8名)	① 進路情報である「進路だより」の更なる充実を図り、家庭と一体となったの育成を行ない進路指導の一層の充実を図る。 ② 福祉コースの充実と合わせ、地域・関係団体との一層の連携を図り、インターンシップを充実・発展させる。
特別活動	① 学校行事・部活の充実の生徒の満足度は82.9%、69.9%であり、高い評価を得ている。 ② 貸し出し図書数は703冊、利用者は3949名(12月現在)であった。	① 各学校行事を活用し、生徒の自主性・協調性及び社会性の育成を図る。 ② 授業時の図書館の利用を推進し、新着図書等の情報を常時発信する。
体・育安・全健健康教育	① 安全教育について、校内安全点検を学期に2回程度全職員で行ない、安全な教育環境に努めている。 ② 全校での防災訓練を2回実施、職員の緊急連絡網の訓練や、携帯メールを使用しての危機対応の連絡を実施した。	① 安全点検での課題に対して、改善と共に注意喚起を行ない、生徒自らの意識を高める危機対応の育成を推進する。 ② 訓練や講話を実施し、危険回避能力の育成や食に関する指導に努める。
特援別教支育	① 3名の特別支援教育コーディネーターが中心となり、外部機関との連携を図っている。	① 中学校・特別支援学校・医療機関等との連携を図り、職員間で情報の共有に努め、組織としての対応に努める。
研修	① 外部講師を招き、日常の生徒対応時の不祥事防止の研修を実施した。	① 校内の若手職員の研修を、計画的に実施し内容の充実を図る。
特色教育ある活動	① 福祉コースにおいて、介護職員初任者研修が校内で修了できる体制になった。 ② 復習教材を導入した授業展開で、基礎学力の育成に努め、進路実現を目指した体制を構築している。	① 福祉コースについて、大学や関連施設等と連携を強化し、校内体制の充実を推進する。 ② 教育課程や授業内容の見直しを行い、生徒の状況に応じた学習を提供する。

学校評価の公表について (手段・時期等)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り（3学期号）で保護者宛に公表する。 ・3月10日からホームページにて学校評価を掲載する。 	
領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ① ホームページや携帯メールで、保護者にも行事等について連絡されるのはよい。学校内や周辺に、駐車スペースが確保されると来校しやすくなる。 ② 「松尾高校に入学してよかった」の満足度が、生徒・保護者ともに高評価であり、生徒は高校生らしい。 ③ 学校行事は充実しているが、地域との連携を深めるようなことを計画的に実施するように努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 開かれた学校づくり委員会やミニ集会等での意見交換を積極的に行い、学校・家庭・地域が連携を密にし、信頼される学校づくりを推進する。 ② 「松尾高校に入学してよかった」評価される学校づくりを更に推進する。 ③ 学校行事をとおしての人間形成等のために、計画的に充実した行事等を、地域と連携を図って実施するように努める。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業時の生徒を参観し、意欲的に取り組む姿があった。授業の工夫を一層して、理解度の向上や補習の充実を図ってほしい。 ② 福祉コースについて、積極的に運営をしている。検定試験や各講座による資格取得の推進を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎学力の充実のため、復習教材を導入した授業と共に、授業改善をとおして分かる授業を推進する。 ② 福祉コースの整備・充実に努め生徒の希望を生かす。また、各類型やコースごとの資格取得を推進する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人面談などをとおして、生徒理解に努め、日常の挨拶等校外でも出来ていて生徒指導の充実が感じられる。 ② 生徒指導について、頭髪・服装・電車マナー等、地域で見えて好感を持っているので継続した指導を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員間での情報の共有を更に図り、多様な生徒に対応して、一貫した指導体制のもと生徒に応じた指導の向上を図る。 ② 生徒の服装や挨拶など、基本的生活習慣の定着を目指す指導により、保護者や地域から信頼される生徒指導を実践する。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 進路説明会等が計画的に実施されていて、保護者の満足度も好評であり、継続した丁寧な進路指導を実践してほしい。 ② インターンシップにより、生徒の興味・関心を引き出し、地域との連携により適切な指導がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 進路指導の内容の見直しを行い、保護者に対しての広報の充実を図り、家庭と一体となった進路指導を目指す。 ② インターンシップによる体験学習を一層充実させて、協力団体や施設・企業の増加に努める。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 文化祭や体育祭などの行事をとおして、松尾高校の特色を生かしてほしい。 ② 図書室は整備されているので、利用者の増加を目指してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 行事の実施日等をホームページや携帯メールの活用により、保護者や地域住民へ積極的に広報をして更に参加者を増やす。 ② 図書館を利用した授業の実施や、図書の貸出実績の向上のため「図書だより」の発行等充実に努める。
体・育安・全健教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 徒歩遠足やマラソン大会などの行事等をとおして、心身の健康体育教育がなされている。 ② 避難訓練を定期的実施して、生徒の安全が常に配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間をとおして、計画的に体育・健康教育の実践ができるように学校行事の充実を図る。 ② 防災教育の定期的実施し、自らを守る意識の育成を図る。また、地域と連携した防災体制づくりを推進する。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の実態把握をきめ細やかにを行い、医療機関や特別支援学校等外部機関との連携した教育の推進をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 複数の特別支援コーディネーターを配置し、関係機関との連携を図り、生徒の実態に応じたきめ細かな特別支援教育を推進する。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ① 意欲を持って、新たなことに対して積極的に取り組み、指導力の向上に努め欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間を通して、計画的・継続的な研修体制により、教職員の一層の資質の向上に努める。
特色教育ある活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 福祉コースの充実により、地域への人材供給などの期待に応えてほしい。 ② 部活動は、活発に行われており、生徒も職員もよく頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 福祉コースについて、校内での資格取得の整備に努める。生活、ビジネスの更なる充実と資格取得を目指す。 ② 部活動の活動状況や加入の向上に努め、学校の充実や特色を表すことを目指す。